



説明を求める齊藤委員長

予算審査特別委員会 令和8年度各種会計等予算審査

審査：3月5日、6日、9日、12日

委員長：齊藤 好信 議員
副委員長：大西 功 議員

令和8年度各種会計等の予算について、予算審査特別委員会において審査を行い、採択の結果全て原案通り可決しました。

ここでは、委員会での主な質疑や意見などを掲載します。

審査では、町民ニーズとの整合性や新規・拡充・見直し事業の必要性、費用対効果などに着目し、審査を行いました。



◆予算の概要

一般会計で61億9,600万円となり、過去最高の予算規模となりました。

その主な要因は、令和9年度に供用開始予定の名寄地区衛生施設事務組合一般廃棄物中間処理施設整備に伴う建設事業負担

金4億27万1千円のほか、人件費の増額や物価高騰の影響などです。

財政を健全に運営していくために設けられている、財政運営基準については毎年度、基礎的財政収支「プライマリーバランス」（福祉や産業、公共事業など、地方債などの借金に頼らず、地方債などの程度賄えているのかを示すもの）の黒字化を目指すこととし、毎年度黒字化を達成しているほか、基金及び地方債残高についても基準を満たしているとの説明を受けました。

◆委員会審査

所管課ごとに予算編成の概要などについて推進施策・事業概要書、予算書などの資料に基づき説明を受け、予算審査が行われました。

その主な審査内容は次のとおりです。

総務企画課

質問 都市計画マスタープラン

（長期的な観点から、将来のまちの姿、土地利用、道路・公園などの公共施設整備の方向性を定める計画）の改定スケジュールが2年間となるのはなぜか。

答 町民との意見交換や、入念な議論を進めるために2年間とした。

保健福祉課

質問 従来から行っているハピネス健診の受診対象者を、18歳以上から小学校1年生以上に拡充した理由は。

答 早い段階から健診を受けることで生活習慣の見直し・改善のきっかけとなることを期待して拡充した。

教育課

意見 下川商業高等学校通学費助成の対象者が片道10km以上であるが、上名寄などの町内の生徒も対象となるよう検討していただきたい。

などの質疑答弁がありました。